

# 発達障害者地域支援マネジャーの取組

取組名	未就学児の支援の課題整理及びその取組について①
目的	<p>令和6年6月現在、静岡市内には児童発達支援事業所が72カ所、児童発達支援センターが3カ所、保育所等訪問支援を行っている事業所が35カ所存在する。</p> <p>事業所の数が増える中で、支援内容や職員の質にばらつきが出始め、それによる利用者・園・学校等からの相談が増加している。現在の児童発達支援及び保育所等支援における課題を整理し、支援技術の向上や児童発達センター等地域との連携について検討する。</p>
参加者	児童発達支援センター3カ所、委託相談支援事業所4カ所、地域生活支援拠点（まいむまいむ）2カ所、静岡市発達障害者支援センター、行政
取組	<p>【第1回】7/12(金) ①児童発達支援事業所の現状②保育所等訪問支援事業を行っている事業所の現状、および今後の在り方について検討</p> <p>【第2回】9/24(火) 4つの課題及びその他課題について、具体例や改善方法についての検討が行われ、以後は2つのグループに別れて、検討</p> <p>①事業所の質の課題について（研修の実施）： 仮説：5領域のアセスメントとそれに基づく個別支援計画の作成が今年度から事業所に求められているが、5領域のアセスメントに困っているのではないか？ →5領域のアセスメントに関する研修の実施(12月2日～1月24日まで動画配信+事業所へのアンケート調査+効果検証) 参考資料2</p> <p>②課題整理及び継続的なアプローチ： 課題整理は検討会の中では4つに概ね分かれているが、それぞれが複合的に影響し合っていることも確認できた。対象が発達障害にかかわらず、知的障害、身体的障害などすべての発達に課題のある子どもの話であり、継続して、さまざまな関係機関での取り組みが必要であることから、静岡市障害者自立支援協議会で地域課題として取り扱う方が適当との結論となる。→令和6年度第2回障害者自立支援協議会にて、協議予定</p>

# 発達障害者地域支援マネジャーの取組

取組名	未就学児の支援の課題整理及びその取組について②
課題	<p>検討会を実施する中で、下のとおり整理している。</p> <p>&lt;こどもへの支援について&gt;</p> <p>①事業所の支援の質の課題：児童発達支援事業や保育所等訪問支援について、事業所数は増えているが支援の質の担保が難しい。</p> <p>→（１）サービスの提供内容について共有できる機会の不足、（２）<u>アセスメントや特性について学ぶ機会の不足（※今年度の研修は、ここにアプローチ）</u></p> <p>②連携の課題：園や学校との連携の課題や事業所間の連携の課題</p> <p>→（１）他分野の未就学児の社会資源の理解の難しさ、（２）連携のスキルについて学ぶ機会の提供 （３）関係機関の相互理解の課題</p> <p>&lt;家族全体への支援について&gt;</p> <p>①保護者支援の課題：保護者の子どもの理解（障害受容）の課題や保護者自身も障害や貧困などの様々な課題を抱えていること</p> <p>→（１）保護者のこどもへの理解促進など、保護者支援の充実 （２）家族全体が多問題（経済的困窮や保護者自身の障害、家族間の暴力など）ケースである場合の関係機関連携の困難さ</p> <p>②相談支援の課題：関係機関等の相談支援の役割の認識不足や相談支援の調整機能の不全</p> <p>→（１）困難ケース等の事例の共有の確保 （２）家族全体への支援について学ぶ必要性</p>

# 発達障害者地域支援マネジャーの取組

取組名	未就学児の支援の課題整理及びその取組について③
地域支援マネジャーとしての今後の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修後のアンケートの結果の集計などが終わったタイミングで、報告書を作成予定。</li> <li>・来年度以降は、障害者自立支援協議会のこども部会での取り組みと連動し、＜こどもへの支援について：事業所の質や連携の課題＞について、取り組みを行っていくことを検討。</li> <li>・＜家族全体への支援について：保護者支援や相談支援の課題＞は、委託相談支援事業所などと連携していく。</li> </ul> <p>※発達障害者支援センターとして、これまで障害分野に限らず幅広い分野との連携をしてきたことから、他分野との連携などはきりりとしては、力を発揮していけると考える。</p>
所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで当センターでの未就学児期への支援は保護者への直接支援、間接支援（園等へのコンサルテーション）をじっししていたが、児童発達支援事業所への支援はコンサルテーションを通じて一部にとどまっていた。今回の検討会を通じて、委託相談支援事業所や拠点と課題整理を通じて地域の実情を知り、連携の重要性を再確認できた。今後も他機関との連携を密にしながら、地域づくりを行っていききたい。</li> <li>・当センターでは未就学児期の研修は、オンライン研修「発達支援ビデオ講座」や放課後等デイサービス向けに、発達障害の基礎や応用行動分析の研修を実施してきたが、「児童発達支援事業所等向け」研修はこれまで行っていなかった。今回児童発達支援事業所向けの研修を実施したところ、12/3現在、49カ所、63名が視聴申込みがあり、ニーズの高さを実感しており、今後も取り組みたい。</li> <li>・虐待予防や早期支援の効果を高めるために、今後は児童発達支援事業所と連携してペアレント・プログラムを地域に広めていきたい。</li> <li>・保護者支援についてペアレントメンターの機関への派遣を今年度新たに児発センター2か所にも派遣したところ、保護者のニーズが高いことが確認できたため、今後は地域の児童発達支援事業所や私立園にもメンター派遣について積極的に広報し派遣していききたい。</li> </ul>